

第59卷 第10号

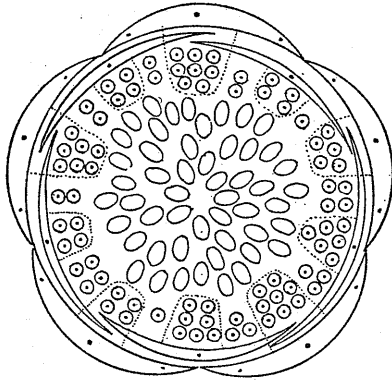
(通卷第680号)

Vol. 59 No. 10

# 植物研究雜誌

## THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和59年10月 October 1984



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和五十九年十月十五日印刷

昭和五十九年十月二十日發行  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日發行)

目 次

原 寛・山中二男：四国産ツツジの新種…………… 289  
 P.T.K. モハン・S.M. ジョラプール：南インドのボウラン属の細胞分類学的研究… 293  
 林 義昭：タムシバ（モクレン科）の胚発生的研究…………… 298  
 服部新佐：小笠原諸島産ヤスデゴケ属の新種…………… 308  
 V. ラングスワミ・T. プライア：ヒメムカシヨモギの花粉・胚珠の初期発育………… 312  
 雑 録  
     矢原徹一： ヤブマオの学名訂正…………320  
 新 刊…………307, 311

Contents

Hiroshi HARA & Tsugiwo YAMANAKA: A new species of *Rhododendron*  
 (Sect. *Azaleastrum*) from Shikoku, Japan…………… 289  
 P.T.K. MOHAN & S.M. JORAPUR: Cytotaxonomical studies of the genus  
*Luisia* Gaud. (Orchidaceae) from South India…………… 293  
 Yoshiaki HAYASHI: Embryology of *Magnolia salicifolia* Maxim. (Magno-  
 liaceae) …………… 298  
 Sinske HATTORI: A new species of *Frullania* from the Bonin Islands …… 308  
 V. RANGASWAMY & T. PULLAIAH: Studies in the embryology of *Erigeron*  
*canadensis* L. (Compositae) …………… 312  
 Miscellaneous  
     Tetsukazu YAHARA: A correction for a combination of *Boehmeria* published  
     on p. 134…320  
 Book review…307, 311

〔表紙カットの説明〕 ニガイチゴの花式図。維管束の走行から花の各器官の位置関係を調べると、約80本ある雄しべは20組の群に分けられる。そのうち10組は4-8本が一つの群を作り、萼片または花卉の中央維管束から順次分離する。別の10組は前者と交互に並び、1-4本の雄しべからなり、萼や花被の維管束とは関係がない。

(山崎 敬)

〔Explanation of the cut on the cover〕 A floral diagram of *Rubus microphyllus* based on the vascular course. The stamens are clustered in twenty groups, in which the ten groups with 4-8 stamens adhere to the middle bundles of sepals or petals and the other ten with 1-4 stamens are free from the perianth-bundles.  
 (Takasi Yamazaki)

## 投稿規程

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先（勤務されていない場合は住所）とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴りを、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平がな交じり、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼り込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数（50の倍数）を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
  - a. 希望される別刷の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
  - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
  - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は 〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号 津村研究所、岡田 稔あてのこと。

## 編集員

### Members of Editorial Board

原 寛 (Hiroshi HARA)

編集員代表 (Editor in chief)

千原光雄 (Mitsuo CHIHARA)	井上浩 (Hiroshi INOUE)
伊藤洋 (Hiroshi ITO)	金井弘夫 (Hiroo KANAI)
木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)	木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)
小林義雄 (Yosio KOBAYASI)	黒川遣 (Syo KUROKAWA)
三浦宏一郎 (Koichiro MIURA)	大橋広好 (Hiroyoshi OHASHI)
岡田稔 (Minoru OKADA)	津山尚 (Takasi TUYAMA)
山崎敬 (Takasi YAMAZAKI)	

### 代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号1部 550円, 増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分 6,000円 (送料別)。
- 3) 代金払込は, 〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号 津村研究所 (振替東京 8-1680) あてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rates: 8,500 yen including postage.  
Payment in Japanese currency only.

All communications to be addressed to the Editor

**Minoru Okada**

Tsumura Laboratory, 1-9-9, Izumihoncho, Komae-shi, Tokyo, 201 Japan

昭和59年10月15日印刷  
昭和59年10月20日発行

編集兼発行 岡 田 稔

印刷者 富 田 潔  
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13

印刷所 学術図書印刷株式会社  
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13  
電話 (991) 3754番

発行所 津 村 研 究 所  
〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号  
(振替 東京 8-1680)  
電話 (489) 4158番

定 価 550 円

不 許 複 製